NPO 法人横浜日独協会　第 18 回理事会議事録

１．日　　時　　2018 年 11 月 17 日（土）13：00～14:30
２．会　　場　　戸塚区民センターさくらプラザ 3 階カフェ２０１
３．理事総数　　21 名≪出席 14 名　≪欠席 7 名≫
４．出席者　　早瀬会長　能登副会長　向井副会長　坂井常務理事　小島常務理事
南雲常務理事　磯貝理事　中尾理事　佐藤理事　寺澤理事　齊藤常務理事
議長委任：山口常務理事　藤田理事　大堀理事
欠席理事：黒崎理事　ゼーリヒ理事　ユーデック理事　大久保理事
神永理事　山岸理事　成川理事
（運営委員：大治委員　地野委員）

５.議題
(1)　第 1 号議案　報告事項について
(2)　第 2 号議案　例会・行事予定について
(3)　第 3 号議案　創立 10 周年記念事業に向けての提言について
(4)　第 4 号議案‘19 年度ユースフォーラム・女性フォーラム合同開催進捗状況について
(5)　第 5 号議案　寄附金の呼びかけ及び賛助会員加入の勧めについて
(6)　第 6 号議案　運営資金と定期預金の解約について
(7)　第 7 号議案　その他

６.議事の経過の概要及び議決の結果
定款第 33 条の定めにより早瀬会長が議長にあたる。
議長より議事録署名人の選任について､出席理事にはかったところ議長一任との意見があり、早瀬会長ならびに能登副会長、向井副会長を推薦することを提案し、満場一致で承認され、続いて上記 7 議案の審議を行った。

第 1 号議案　報告事項について
① 会員実績：個人１９４名（内ＹＣ３５名)、法人１２社　　合計　２０６名
※会員実績の中には休会者・会費未納者 15～20 名余りが含まれている。
② 資金状況：10 月 31 日現在高　390,444 円（普通預金 150,444 円、定期預金 200,000 円、仮払金 40,000 円、電話加入権 1,500 円）
11 月 17 日現在高　245,531 円（普通預金 45,531 円、定期預金 200,000 円、仮払金 30,000 円、電話加入権 1,500 円）
③ 会報／ＨＰ:会報（第 47 号）の法人会員紹介はケルヒャー・ジャパン（株)。同社より反応があり、レイアウト、写真等が良かったとのコメントだった。
次回 48 号ではモトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合を予定。
④ 事業実績（予定）報告：
・ドイツ大使館事業助成金の申請（2018.11 例会対象）

※当協会も応募したが選考から外れた。この助成金は今回限りで継続はない。（能登副会長）

・ぐんま日独協会創立 30 周年記念式典、記念コンサート「ドイツ音楽紀行」(11/11)

※記念事業（式典及びコンサート）は一日だけだったが非常に充実した内容だった。当協会の 10 周年事業でも参考になることが多かった。（早瀬会長）

・駐日ドイツ連邦共和国大使による講演会(11/19 15:30、神奈川大学学長室主催)

※講演会開催のことが当協会に知らされたのは今回の理事会の直前だった。希望者は当日受付で参加可能。

・当協会の懸案となっている法人会員間の交流会を年明け 2 月頃には具体化したい。（向井副会長）

・来年新潟（開港 150 周年、横浜市と同時期に開港）において日独協会連合会総会が予定されているが、12 月に同連合会副会長会議があり早瀬会長出席予定。（早瀬会長）

以上、報告事項について全理事一致して承認された。

第 2 号議案　例会・行事予定について

11 月理事会（第 18 回）: 11 月 17 日（土）13：00～14:30 戸塚区民文化センター

11 月例会：11 月 17 日（土）15：00～17:00 戸塚区民文化センター3 階多目的室（中）

講師：ゲッペルト・昭元僧侶（石川県・観音寺住職、大本山聰持寺祖院客補）

「禅宗の僧侶になったドイツ人」

12 月理事会（第 19 回）: 12 月 9 日（日）10:30～11:30（クリスマス会場にて）

クリスマス会：12 月 9 日（日）11：30～15：00「横浜ヒルサイドガーデン」（みなとみらい線元町・中華街驛下車徒歩 3 分）

※当初予定したプログラム「ダンス」は吉田会員欠席のため取りやめ。クイズの賞品は役員の持ち寄りでやるので協力して欲しい。（南雲常務理事）

2019 年 1 月理事会（第 20 回）: 2019 年 1 月 19 日（土）戸塚区民文化センター3 階多目的室（中）

1 月例会：2019 年 1 月 19 日（土）15：00～17：00 戸塚区民文化センター3 階多目的室（中）

講師：ドイツ大使館フィーツェ首席公使

「激動のドイツ政治情勢の行方」（仮題）

2 月例会：2 月 16 日（土）または 23 日（土）

講師：G・ロエル　NRW 州公社ジャパン社長

「NRW 州から見たドイツ／EU は？」

3 月例会：3 月（日程調整中！）、内容は武田章寛 YC 会員によるトークコンサートを予定している。

4 月例会：当協会の大野眞理子会員を予定している。

5月例会（定時総会後の講演会）は人選中。　　（以上、能登副会長）

以上、例会・行事予定について全理事一致して承認された。

第3号議案　創立10周年記念事業に向けての提言について

ぐんま日独協会30周年記念式典（別添資料、30周年記念式典次第参照）に参加したが、一日だけのプログラムでもとても充実した内容だった。当協会の10周年記念事業は二日間当てているが、一日の開催もありえる。準備委員会でも参考にしつつ、横浜独自のプログラムを練ってもらいたい。三渓園をフルに活用し、茶会、琴、お香等の「和」、フランクフルト市からの参加者（シュタンツェル独日協会会長他）との大交流会等々。横浜市長にも出席願いたい。（早瀬会長）

続いて小島常務理事より、別添資料「創立10周年記念に向けての提言」にもとづき、記念事業小委員会設置、記念事業・イベント素案例、組織体制案についての説明があった。提案内容から、①記念式典等の当日のイベントへの取組と、②協会の創立から10年を契機に主要事業の充実拡大や財源と組織体制をより強化策等への取組という二つの課題があることを確認した。

記念式典を中心にしたイベントの早瀬会長を統括委員長とした準備委員会は承認されているが、記念イベントだけで10周年の節目を終えることはなく、小島常務理事提案の中身を具体化する組織的取組も並行して進めることとなった。特に若者を支援する事業等は継続して取組むものであり、一定期間を定め骨格方針をまとめることが必要である。（小島常務理事）

以上、創立10周年記念事業に向けての提言について、一部継続審議を含め全理事一致して承認された。

第4号議案　2019年度ユースフォーをラム・女性フォームラム合同開催進捗状況について

日程については関係機関（会場借用等）、関係者（基調講演者、通訳等）の都合から開催日を来る2019年6月22日（土）とし、関係者等とのスケジュール調整していく。（小島常務理事）

以上、ユースフォーをラム・女性フォームラム合同開催の進捗状況について全理事一致して承認された。

第5号議案　寄附金の呼びかけ及び賛助会員加入の勧めについて

事務局提案として別添資料（税制優遇の仕組み）の趣旨説明があった。認定NPO法人化は寄附金拡大のためのものであり、今後の協会の土台強化となる。会員拡大の方策として寄附金と同等の扱いとされる賛助会員を積極的に呼びかけていく。例えば正会員のご家族や趣旨に賛同し資金的応援をしたい方々、資金援助と税制優遇をセットで考えている方々等々、理解を広げていきた。この取り組みは強いては

2020 年協会創立 10 周年事業の資金作りにもなる。

ただし、賛助会員には総会での投票権がないことや正会員の家族割引のような仕組みがないことが加入を進めるうえでネックにならないか、税制優遇の有無より日独協会そのものへの魅力が加入につながるのではないか、等々の意見があった。

寄附金の呼びかけは、まず役員・運営委員に寄附の依頼を行う。会報及びホームページに寄附の呼びかけコーナーを設け、会員及びその他の読者層に働きかける。

なお、寄附金や賛助会員の加入は未知数なため、財源に直接響く経費削減案を次回理事会に事務局より提案する。当面、現行の協会支出分を止めることを含めた内容になろう。（齊藤事務局長）

以上、寄附金の呼びかけ及び賛助会員加入の勧めについて、一部継続審議を含め全理事一致して承認された。

第 6 号議案　運営資金と定期預金の解約について

冒頭で報告した資金状況のとおり普通預金の残額が少なくなっている。今日までの協会の活動が積極的に行われてきた結果といえる。今後若干今年度の個人会員、法人会員から会費入金が予定されているが、当面の資金が確実に不足するため、定期預金 20 万円を解約し普通預金に移す。（齊藤事務局長）

以上、定期預金の解約について全理事一致して承認された。

第 7 号議案　その他

〇例会の広報のしかたを工夫してはどうか。会報に掲載される講師名とタイトルのみでは、せっかく良い講師を選んだとしても、結局会員の興味を引かない。講師のプロフィールや写真、講演内容の概要を周知して欲しい。

以上、要望意見について全理事一致して承認された。

以上により本日の議事を終了して、議長は閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

２０１８年１１月　　日

議　　長　　早　瀬　　勇

議事録署名人　　能　登　　崇

議事録署名人　　向　井　　稔